医療情報標準化推進(HELICS)協議会 2017 年度事業計画

1. 理事会および審査委員会:

医療情報標準化指針の審査:申請された指針案について、他の内外の規格との整合性、一貫性、また当該標準案の完成度、維持体制などについて検討し、「医療情報標準化指針 (HELICS 指針)」としての可否を審査する。

2. 標準化委員会:

- (1) 各団体から申請された指針について、迅速に審査が行われるように審査 委員会のメンバーの調整を行う。標準化委員会を定期的に開催し、標準化 の現状について調査するとともに、本協議会の長期的な標準化方針の策定 を行い標準規格の提案勧告などを行う。
- (2) すでに採択した HELICS 指針について、必要に応じて見直しを行う。 また、利用状況の調査を行い利用上の課題等を把握し必要に応じて指針利 用の観点から対応するレポート類の改訂を指導する。
- (3)標準化の必要性がありながら標準化の策定に着手されていない分野を調査し、標準化を推進の方策を検討し、必要に応じて関連する団体に働きかけを行う。
- (4) 適宜医療情報標準化推進協議会の体制、規則等の見直しを検討する。
- (5) 広報委員会と連携し HELICS 指針の普及推進を図る。
- (6) 個人会員、企業会員の入会を促す施策を検討する。

3. 広報委員会:

(1)情報の提供:標準化の推進のための情報として「医療情報標準化レポート」をホームページ上に掲載する。また、HELICS 協議会のホームページを整備し、HELICS 指針の解説としての標準化レポートを掲載して、標準化活動の推進と啓蒙に努める。

- (2)標準化の普及を目的としてシンポジウム等の開催 HELICS シンポジウムを日本医療情報学会大会時に開催する。
- (3) HELICS 指針の普及推進を標準化委員会と連携して行う。
- (4) ホームページの整備を引き続き行う。標準規格を採用することのメリットをより分かりやすく訴えていくことが必要となっている。
- (5) 必要に応じて、HELICS ニュースを発行する。
- 4. 委員会の開催
 - (1) 定時理事会、総会の開催
 - (2) 書面理事会 適宜
 - (3) 標準化委員会 5~6回/年を予定。
 - (4) 広報委員会 4~5回/年を予定。
 - (5) 審査委員会 必要に応じて開催予定。 (医療情報標準化指針の申請数による)

HELICS協議会

2017年度(平成29年度)収支予算書(2017.4.1~2018.3.31)

1 収入の部 (円)

				11. 27
科 目	2016年度予算	2016年度予想確定値	2017年度予算	備考
1.財産運用収入				
2.会費収入	800,000	800,000	800,000	
幹事会員	600,000	600,000	600,000	10万円×6団体
正会員	200,000	200,000	200,000	5万円×4団体
3.事業収入				
4.雑収入	600	42	50	受取利息
小計	800,600	800,042	800,050	
前年度繰越金	3,817,339	3,817,339	4,076,224	
当期収入合計	4,617,939	4,617,381	4,876,274	

2 支出の部

科目	2016年度予算	2016年度予想確定値	2017年度予算	備考
1.事業費	600,000	512,419	800,000	
理事会·総会費	150,000	97,579		理事会·総会会場費、旅費
シンポジウム	250,000	110,508	250,000	講師旅費など
標準化委員会	50,000	115,002	150,000	会議費・旅費
広報委員会	50,000	17,798		会議費・旅費、HELICSニュース、資料印刷
審査委員会	100,000	171,532	150,000	会議費・旅費など
2.管理費	60,000	9,780	211,000	
印刷費	0	0	200,000	パンフレット印刷
消耗品費	0	0		事務用品代
通信運搬費	0	492		切手、郵便代
雑役務費	60,000	9,288	10,000	事務局経費
3.予備費	20,000	0	20,000	
小計	680,000	522,199	1,031,000	
未払金	0	18,958	0	
次年度繰越金	3,937,939	4,076,224	3,845,274	
当期支出合計	4,617,939	4,617,381	4,876,274	